

**匂わない足元!ニオイ消しの最終兵器！！**

## **魔法の消臭パウダー**

足のニオイの原因となる、細菌・角質・汗などの  
嫌な匂いを吸着し、菌の繁殖を抑えます!

魔法の消臭パウダー：靴の臭いを抑制し、長期間消臭効果を持続させます。

客単価UP：消臭商品など購入時のついで買いを促進し、  
顧客一人当たりの売上を向上させます。

長期販売可能：これらの商品は消耗品のため、長期的な販売を促進します。

# パウダータイプが選ばれている理由

1

## 消臭力・持続力

パウダータイプの消臭剤は足や靴の内部の湿気と接触することで臭いの発生源を直接中和します。液体タイプのスプレーは表面的に作用しやすく、時間が経つと効果が薄れてしまう傾向があります。

2

## コスパ

パウダータイプの消臭剤はエアロゾルスプレータイプと比べ、一度に少量しか必要とせず、その量で十分な消臭効果を得ることができます。

3

## 靴を選ばない

液体タイプの消臭スプレーは一部の素材には使えない場合があります。パウダータイプの消臭剤は靴の素材や形状、サイズを選びません。

# 他の消臭アイテムとの比較

項目	消臭パウダー	消臭スプレー	消臭インソール
消臭力	高い(★)	中	中
持続力	高い(★)	中	低い
コスパ	高い(★)	中	中
利便性	中	高い(★)	中

1.消臭力: 消臭パウダーが一番優れているとされています。これは、パウダーが直接靴の中に振りかけられるため、より密着して消臭効果を発揮できるからです。

2.持続力: 同様に、パウダーが靴の中に残るため、スプレーやインソールと比較して持続力があります。

3.コスパ: 一般的に、消臭パウダーは量が多いため、長期間使用できます。スプレーやインソールと比較してコスパが高いと評価されています。

4.利便性: スプレーは靴に簡単に吹きかけられるため、利便性は高いと評価されています。一方、パウダーは使用後に余分な粉を払い落とす必要があり、インソールは定期的に交換が必要なので、いずれも中程度の利便性と評価されています。

(★)は該当アイテムが最も優れている項目を示しています。

# 「魔法の消臭パウダー」 3つの特徴



## 強力な消臭成分

ミョウバンの消臭効果に加え独自の有効成分を配合。銀イオン、フラベスキンス末、サリチル酸、タルカム末、緑茶などをブレンドし消臭効果を高めています。



## ボトルタイプ

旧来のふりかけるタイプの容器では、粉末が1箇所に出過ぎてしまう問題がありました。しかし、粉末をととても細かく、片栗粉のようにサラサラにすることで、振りかける量の調節を行いやすくし、靴全体になじませやすくしました。



## コスパ良し

内容量を60gとした場合、大人靴に1g、子供靴に0.5g使用すれば、4人家族（大人2人、子供2人）は約20回分の消臭が可能です。週2回の使用で約3ヶ月間の利用が可能な容量です。

# パウダータイプのメリット

- ・ **高い消臭力:** 消臭パウダーは靴内の湿気を吸収し、臭いの原因となるバクテリアの繁殖を抑制するため強力な消臭力を発揮します。
- ・ **持続性:** 消臭パウダーは靴内部に長時間留まることができるため、一度振りかけると持続的な消臭効果が得られます。
- ・ **コストパフォーマンス:** 少量(1g程度)で効果を発揮し、容量が大きいいため長期間使うことが可能です。

## 消臭力テスト(実施予定)



# パウダータイプ使用感

- ・ **利便性:** 靴にパウダーを振りかけた後、適切に分布させる必要があります。
- ・ **使用直後は白い粉が目立ちます:** 使用直後はパウダーが靴に馴染んでいないため靴や靴下が白くなることがあります。通常15分程度履くことでなじみ、白さが目立たなくなります。



# 靴の消臭はパウダータイプが最強

1. **消臭力:** パウダーが余分な湿気を吸収し、臭いの原因を効果的に取り除きます。
2. **効持続性:** パウダーはスプレーやインソールよりも長期的な消臭効果があります。
3. **コスパ:** パウダーはスプレーやインソールに比べ、コストパフォーマンスが高いです。
4. **万能性:** ほとんどの靴に使用可能で、靴の素材を選びません。
5. **扱いやすさ:** 靴に振りかけるだけで効果を発揮します。
6. **天然成分配合:** 天然成分を配合、化学物質の使用を減らします。
7. **コンパクト:** 容器は軽量で持ち運びやすく、収納場所を選びません。
8. **アレルギー対策:** 主な成分にベビーパウダーを使用、肌に触れても安心です。
9. **環境に優しい:** エアロゾルスプレーと比べ環境に優しく、持続可能な選択肢です。